



図書館だより

図書館運営委員会

図書館豆知識

「蔵書印」について



「蔵書印」とは図書の所有権を明らかにし図書館の所蔵物であることを示すため、そして図書の散逸を防ぐために押捺する印章のことです。また盗難防止の役割を持ちます。押捺する場所は、標題紙の裏などに押します。蔵書に印を押す習慣は中国から日本へ移入され普及しましたが、印影(押された印の跡)の枠の意匠や字体などの多彩さと美しさは日本において発達しました。日本では奈良時代からの存在が知られており、光明皇后の蔵書に見られる蔵書印が日本最古とされています。平安時代には多くの寺院の經典に押されており、江戸時代には詩文・書画などに親しむ人たちによってもっとも流行しました。以来、個人や官衙(官庁・役所)、寺社などに普及し、近代以後の各種図書館の蔵書にも広く行われるようになりました。

(参考文献：最新図書館用語大辞典、図書館ハンドブック、日本大百科全書)



図書館所蔵の書籍(本)にも蔵書印が押してあります♪
閲覧する時に探してみてくださいね!

↑東京成徳大学・東京成徳短期大学図書館分館の蔵書印です!

学生による!

Book review



食べ物にも実はあまり知られていない裏話があります。
人気ラーメン店が突然つぶれる理由、サメからフカヒレをとったあと、サメの肉はどうなるか…皆さんは考えたことがあるでしょうか？
この本には、食べ物や食べ物に関わることの「なぜ？」が沢山書かれています。
皆さんも興味がありましたら一度手に取って読んでみては？
今まで気になっていたことのお答えが分かるかも。



『そこが気になる決定版! お客に言えない食べ物の裏話』
編 情報取材班
発行社 青春出版社
2006年2月1日発行
【請求番号：596/Ma54】

図書館の利用方法でわからないことがあったら、
図書館スタッフへ気軽に聞いてね〜♪

